

令和3年度 教育委員会 重点目標

	重点事項	成果目標
1	<p>誰もがよりよい社会と幸福な人生の創り手となる「教育環境日本一」を実現します。</p>	<p>第2期「京都府教育振興プラン」で掲げる「教育環境日本一プロジェクト」に基づき、当面の課題について ICT を活用しながら重点的かつ横断的に取組を進めることにより、新型コロナウイルス感染防止対策を講じるとともに、コロナ禍における学習保障を徹底し、新たな時代に応じた教育の実現をめざします。</p> <p>① 児童生徒1人1台端末の整備と非常時等における学びとつながりの保障</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 府立学校における BYOD (Bring Your Own Device) による1人1台端末の整備を推進するとともに、低所得世帯等への支援を充実します。 <small><目標：タブレット端末等の導入 高校5校、特別支援学校高等部全校 (R2実績：特別支援学校高等部全校) ></small> ○ 「ICT利活用官民連携サポートセンター」により ICT を活用した授業を支援します。 ○ 対面形式とオンライン形式のハイブリッドによるバーチャル留学など、異文化理解と語学力向上のための取組を推進します。 <p>② データの分析・活用による新しい学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 府学力診断テストを CBT (Computer Based Testing) 化するとともに、経年での学力の伸びが把握可能な IRT (Item Response Theory) やパネルデータを活用し、データとエビデンスに基づく学力向上のための実証研究を実施します。 ○ 地元文化財をテーマとした課題解決型学習 (PBL) を小学校でモデル実施します。 <small><目標：小学校5校、中学校5校 (R2実績：中学校5校) ></small> <p>③ 新時代の学習指導体制の構築と働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教員の事務作業を補助するスクール・サポート・スタッフやスクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザー等を配置・派遣するなど、外部人材の活用を推進します。 <small><目標：スクール・サポート・スタッフの配置 全ての小・中・義務教育学校、高校、特別支援学校 (R2実績：小学校183校、中学校79校、義務教育学校1校、高校46校、特別支援学校11校) スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーの未配置校派遣 年12回 (R2実績：年20回) 心の居場所サポーター、学習支援員の配置 全ての小・中学校 (R2実績：小学校125校、中学校63校) ></small>

令和3年度 教育委員会 重点目標

	重点事項	成果目標
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動に地域人材を配置し実技指導や助言、引率業務を行うことにより、部活動の活性化と適切な指導体制を支援します。 <ul style="list-style-type: none"> <目標：部活動指導員の配置 外部指導者の配置 <p style="margin-left: 40px;">中学校 70人 高校 10人 (R2実績：中学校 58人) 中学校 80人(部) 高校 70人(部) (R2実績：中学校 48校 74部 高校 37校 93部) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市町村が設置する「教育支援センター」に臨床心理士や社会福祉士等の専門人材を配置し、相談・支援を行います。 <p>④ 府立高校イノベーションと地域連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公立の強みを活かし選ばれる魅力ある学校づくりを目指す「府立高校の在り方ビジョン」を策定します。 ○ 府立高校・特別支援学校においてコミュニティ・スクールの本格導入を進めるとともに、小中学校でのコミュニティ・スクールの導入を支援します。 ○ 「地域交響プロジェクト交付金」を活用し、教育課題の解決を図る地域のNPO等を支援します。 <p>⑤ 子どもたちが学びやすい施設整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 職業に関する専門学科のある府立高校において、デジタル化に対応した産業教育機器を整備します。 ○ 府立学校のトイレの洋式化や学校施設長寿命化対策、老朽校舎改修等を計画的に進めます。 ○ 井手町に新設する特別支援学校の開設準備を進めます。 ○ 向日が丘支援学校の改築を進めます。
2	<p>豊かな学びを創造し、確かな学力を育成します。</p>	<p><u>主体的・対話的で深い学びを通し、論理的思考力・課題解決力等を育成するとともに、学力向上に向けた実践的・効果的な取組を通し、児童生徒一人一人の確かな学力を育成します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたち一人一人の状況や学校の実態に対応する「京都式少人数教育」を引き続き実施します。 ○ 京都府幼児教育センターを中心に、幼児教育の質の向上や小学校教育への円滑な接続を図ります。 ○ 小学4・5年生段階での学習の高度化や中1ギャップなど、それぞれの学年段階の課題に応じた補充学習等の取組を進めます。

令和3年度 教育委員会 重点目標

	重点事項	成果目標
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 府立高校における基礎学力の定着や希望進路の実現に向けた補習等の取組を推進します。 ○ 大学や企業等と連携し、専門人材による出前授業や体験学習等を実施します。 ○ PISA 型読解力育成のための実践研究を実施します。 <p style="margin-left: 20px;">※PISA 型読解力：学校内外の様々な場面で活用できる、書かれたテキストを理解・利用・熟考する能力</p>
3	<p>学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが幸せに成長できる環境を実現します。</p>	<p><u>子どもたちが幸せに成長できる安心・安全な環境を実現するため、学校だけでなく、家庭や地域がそれぞれの役割と責任と強みを自覚し、社会総がかりで教育に取り組みます。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導のほか、地域が一体となって学校安全の取組を進める体制を構築します。 ○ インターネットや SNS 上のいじめ、薬物乱用などの現代的課題について、警察等と連携した非行防止教室や PTA と連携した研修会などを開催します。 ○ 部活動に地域人材を配置し実技指導や助言、引率業務を行うことにより、地域と連携した部活動の活性化と適切な指導体制づくりを進めます。〔再掲〕 ○ 地域で部活動を担う人材や団体の確保等の課題を整理するため、実践研究を実施します。 ○ 府立高校・特別支援学校においてコミュニティ・スクールの本格導入を進めるとともに、小中学校でのコミュニティ・スクールの導入を支援します。〔再掲〕 ○ 地域の方々の協力による放課後体験活動や学習支援等を支援するとともに、「地域交響プロジェクト交付金」を活用し、教育課題の解決を図る地域の NPO 等を支援します。〔一部再掲〕 ○ 暫定登録文化財制度により文化財の早期保護を図るなど、文化財の保存と活用を推進します。